

令和 5 年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書
(令和 4 年度事業対象)

令和 6 年 3 月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、令和 4 年度の実施について、自らその状況を点検し評価を行い、金沢美術工芸大学 桑村 佐和子先生にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいります。

令和 6 年 3 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策 1 学校教育の充実

1 教職員の資質ならびに授業力の向上	4
2 豊かな心，確かな学力の向上	6
3 教育支援の充実	9
4 コミュニティスクール事業	10
5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～	12
6 教育環境の整備充実	14

施策 2 青少年の健全育成

1 青少年教育	15
---------	----

施策 3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動	16
2 公民館活動の推進	17
3 社会教育施設の運営	21

施策 4 芸術・文化の振興

1 文化財の保存と活用	26
2 博物館の活動	28
3 文化振興	32

施策 5 スポーツの推進

1 競技スポーツの充実・強化	33
2 生涯スポーツの普及・振興	35
3 スポーツ施設の整備充実	37

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議	38
2 総合教育会議	43
3 教育委員の主な活動	43

3 学識経験者の意見

施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成を目指して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、考え議論する道德の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

1 教職員の資質ならびに授業力の向上

令和4年度の主な取組

◇教職員研修事業（730 千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のよう施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、「能美市学びのベーシック事業」研究校を指定し、指定研究校に大学等から外部講師を継続して招へいすることで、学校研究を充実させます。本事業での成果を市内に発信し共有します。外部講師からの継続した指導を受けることで教師一人ひとりの授業力の向上を目指します。

*研修講座ならびに学びのベーシック事業 講師招へい一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
夏季教職員研修講座 (ICT 活用)		平井聡一郎	文部科学省 ICT 活用教育 アドバイザー	8 月 25 日
		二川 佳祐	東京都公立小学校教諭	
		瀬川 裕也	ベネッセ	
湯野小	学校研究 (算数)	伊藤 伸也	金沢大学	8 月 2 日 10 月 14 日
辰口中央小	学校研究 (算数)	盛山 隆雄	筑波大学付属小学校教諭	11 月 22 日
宮竹小	学校研究 (国語)	折川 司	金沢大学	8 月 2 日 10 月 31 日
和気小	学校研究 (算数)	伊藤 伸也	金沢大学	9 月 9 日 9 月 12 日

寺井中	学校研究 (授業づくり)	杉江 修治	中京大学	11月18日 2月17日
浜小 福岡小 寺井小 宮竹小 和気小 寺井中	特別支援 教育	佐伯 英明	金城大学	8月9日 8月25日 10月12日 10月28日 11月21日 11月9日 1月18日

評価

令和4年度は「GIGAスクール構想」から2年目となり、全国的にいかにより有効活用するかが問われるようになりました。本市においてもICT環境整備は令和3年度から早い段階で進み、本年秋には、低学年への電子黒板を整備し、全通常学級への整備が完了しました。chromebookの良さであるクラウドを活用しながら、各校での熱心な校内研修会と学校間の積極的なチャットスペースによる情報交換のもと、1人1台端末を活用した授業実践が進められ、質の向上を徐々に図ることができました。

市主催の夏季教職員研修は、昨年度に引き続き、平井聡一郎先生を招聘し「まず使ってみる」の段階から「有効活用すること」を狙いとし研修しました。教科におけるねらい達成のために授業でいかにICTを効果的に活用するか、確かな学力の定着につながるICTを活用した授業力の向上を図るべく、理論を学びました。さらに、その具体を学ぶために、東京都公立小学校教諭の二川佳祐氏をお招きし、実際の授業場面での活用事例と、その場での体験を織り交ぜて講義いただき、理解を深めました。

また、市内教職員による埼玉県久喜市への視察研修報告を行い、先進地からの実践からも学ぶ機会と、報告者による市内への還元で、リーダー層の育成並びに、市全体としての研鑽の高まりを創出することができました。

平成30年度から始めた「能美市学びのベーシック事業」の5年目となる令和4年度は、市内5小中学校を研究校に指定し、学校研究の充実を図ることに加え、特別支援教育の充実が喫緊の課題であると捉え、特別支援教育の専門家である金城大学の佐伯英明教授を招聘し、6小中学校で児童生徒の様子を見て指導助言や講話をいただく研修を実施しました。

各学校からは、日頃悩んでいることに対して、理論から実践まで大変分かりやすく教えていただけると大変好評でした。

本事業による講師の指導助言の機会は、該当校に閉じず、市内の各校に開くことで、市内全教職員の学びとして共有することができます。今後も、本事業を通して、市内教職員の学びの場を担保し、良い実践を横展開することで、市内の子供たちの資質・能力の向上、豊かな人間形成を目指していきたいと考えます。

2 豊かな心、確かな学力の向上

令和4年度の主な取組

◇フォローアップスクール事業（1,649千円）

本市では、児童の主体的な学びの実現に向け、土曜日に補充教室として以下の4点を掲げて、フォローアップスクール事業を展開しています。

- ・自ら学び、解決しようとする学習スタイルの確立
- ・児童の学習に向かう意欲の喚起
- ・地域の方との学びを通して育む社会性と人間性
- ・豊かな経験を持つ地域人材の活用

平成20年度より市内の小学校4・5・6年生の希望者に対し算数科を中心として取り組んでいます。算数科を主として、自学自習の確立を進める中で、学習習慣の定着、学力向上を目指します。さらに、平成28年度より学びに大きな影響を与える3年生も希望者に含めています。

また、平成30年度には参加状況や講師補充等の関係で、会場を見直し6会場から5会場に変更しました。令和元年度から「よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条」をもとに、学びの基本的な姿を共有し、一人ひとりが意欲的に学びを進める場所づくりに取り組みました。どの会場でも講師のきめ細やかな見守りの中で、一人ひとりの主体的な学びを進めることができました。令和2年、3年度には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から回数が少し減りましたが、感染症対策に努めながら実施しています。

【よりよい自分になるためのフォローアップ7ヶ条】

1. むいだはき物は、きちんとそろえます。
2. 先生や地域の人に元気よくあいさつします。
3. 先生や地域の人にはていねいな言葉づかいをします。
4. 学習の準備をしっかりとします。
5. ノートやプリント、学習のふりかえりなど、ていねいな字で書きます。
6. あとかたづけをきちんとします。
7. よく考えて、自分のための自分の勉強にとりくみます。

*会場 (根上) 根上学習センター (寺井) 寺井図書館、栗生公民館
(辰口) 辰口福祉会館、宮竹CC館

*講師数 37名

*近年の参加児童数の推移（年間の申込状況）

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
令和元年度	39	53	120	212
令和2年度	59	37	80	176
令和3年度	69	85	75	229
令和4年度	60	96	79	235

評価

これまでの確実な取組が積み重なり、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。

・満足度調査

児 童： 満足 92% 保護者： 満足 97% （回答者 188 人／全体 235 人）

習い事と重なり、行きたくてもいけないという声が多数あります。中には、可能な限り参加したいという声もありますので、来れるときに来ていただくよう返答しています。

講師の地域人材が少し増えましたが、高齢化もありますので、教員志望の大学生や退職教員に声をかけて、講師を確実に確保することが重要です。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（2,872 千円）

「心の教育推進事業」として、道德教育・特別活動を重要な領域と位置づけ、すべての教育活動を通して取組を充実させていくことが大切であると考えます。

昨今、自己存在感の低さやコミュニケーション能力の未熟さなどから、人間関係づくりに困り感を抱えている児童生徒が増加しています。そのことがいじめ等の生徒指導上の諸問題の発生や登校しぶり、不登校児童生徒の増加といった課題の要因の一つにもなっています。より良い学校生活と友達づくりのための QU アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、その結果分析をもとに居場所づくり、絆づくりを推進することで、心の教育の更なる充実を図ります。

＊目 的 一人一人の児童生徒の内面をつかむために QU アンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。

＊対象学年 小学校 4 年生～中学校 3 年生全員

＊実施回数 年間 2 回（6 月・11 月）

＊実 績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6 月実施	11 月実施
令和元年度	41 %	50 %
令和 2 年度	47 %	57 %
令和 3 年度	60 %	61 %
令和 4 年度	57 %	65 %

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6 月実施	11 月実施
令和元年度	60 %	64 %
令和 2 年度	63 %	66 %
令和 3 年度	65 %	66 %
令和 4 年度	65 %	69 %

評価

QU アンケートの結果は学級集団の状況把握，困り感を抱えた児童生徒の把握に有効であり，学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し，人間関係力を高める取組を充実させています。推移を見ますと「親和的な学級」の割合については近年上昇傾向にあり，各校での取組の成果が少しずつ現れていると捉えています。

本市においても不登校は小学校，中学校ともに増加の傾向にあることを重く受け止めています。不登校の課題改善に向けては未然防止，早期対応，個別の支援の３本の柱で取組を充実させていく必要があります。QU アンケートはその取組を支える重要な情報となっています。いじめ問題・不登校等の課題の改善に向けて，今後も有効活用していきたいと考えます。

3 教育支援の充実

令和4年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（61,506千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や周囲の児童生徒の学びやすさ、居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成27年度	21	5	26
平成28年度	20	8	28
平成29年度	23	8	31
平成30年度	19	7	26
令和元年度	20	7	27
令和2年度	21	9	30
令和3年度	26	7	33
令和4年度	33	8	41

評価

特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われています。

市教育センター、市子ども発達支援センター等の関係機関との連携を重視しています。月に1回、市の関係課も交えての情報交換会があります。

特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。例年、年間2回の研修会を開催しています。第1回については市教育センターの相談員が各校へ訪問し、支援員の役割等について懇談を行う機会を設けました。小集団で発達障害を抱える子どもの特性や特別支援教育支援員としての役割について学ぶことができ、支援員からは好評でした。

また、9月には教育センター相談員による適切な児童生徒の支援に向けたポイントについての講話や各校での支援の現状についての情報交換を行う全体会を開き、より有効な支援への理解を深めました。

市内各小中学校では、特別な支援を必要とする児童生徒の個別の教育支援計画を立て、合理的配慮の内容を保護者の合意を得ながら決定しています。

特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているために、学校の特別支援教育支援員のニーズは非常に高いのですが、人材確保や人材育成が難しい現状があります。

4 コミュニティ・スクール事業 (2,512 千円)

令和4年度の主な取組

能美市の強みである「地域の力」を学校運営に生かすために、組織的で計画的・持続可能な教育活動の一層の充実を目指して、全11小中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校づくり」をめざしてコミュニティ・スクールに取り組んでいます。

令和2年度には中学校にも学校運営協議会を設置し、能美市全11小中学校で「地域とともにある学校づくり」を展開しています。

学校運営協議会では、こんな子どもに育てたいという願いを学校と地域が共有し「子どもの成長のために何ができるか」を協議します。そして「学びや体験の充実」と「ふるさと愛の醸成」に向けて、地域と学校が連携・協働して、授業や教育活動などの学校運営に参画しながら学校や子どもたちを応援しています。

【学校運営協議会のめあて】

◆学校のパートナー

学校や子どもの様子、学校のニーズを受け止め「どのように支援するのか、どのように課題を解決したらよいか」と目標に向かって連携・協働して学校を支えます。

◆地域の教育力の活用

地域住民が教育活動に参画して、子どもたちの「社会で生きる力」「学ぶ楽しさ」の向上につなげます。また、教職員が子どもと向き合う時間の確保にもつなげます。

◆地域と学校のかけはし

学校運営協議会が学校と地域をつなげる役割をします。学校と一体になって、組織的で持続可能な「地域とともにある学校づくり」を推進します。

◆ふるさと愛の醸成

地域住民が関わる教育活動を計画的・継続的に行うことで、子ども達が地域の人とふれあい、挨拶やマナー、思いやり等の人とのかかわる力や知識や技能を身に付け、地域の一員であることを自覚し、「ふるさと能美市を愛する心」をもつことにつなげます。

評価

コロナ禍において、朝の検温などに地域住民・保護者が支援を行い、学校の負担軽減を図りました。連絡アプリを導入して検温作業が必要なくなった後も、児童の意欲付けのために声掛け隊として、玄関に立っているサポーターもあり、子ども達が楽しく登校できています。学習では密を避け、複数教室を使ったり、少人数で回数を増やしたりして多くのサポーターが参画しました。中学校では体験活動や職業人講話の講師紹介やさらなる人材へのつなぎなど、地域と学校をつなげる役割をしました。各学校の学校運営協議会へのニーズが高まり、多くのサポーターが学校の教育活動に参画し、心のふれあいや人とのぬくもりを感じる学びとともに、「できた」を実感できる機会を展開しました。

各学校運営協議会代表が集まる場を持ち、全国の研修大会へのオンライン参加や情報交換会などを行い、最新の情報や先進地域の進んだ取組を実感するとともに、委員の見識を高め、学校間のつながりを深めました。

6年児童のアンケートでは「地域の方々が自分たちの学習にたくさんかかわってくれたので、僕も大人になったらたくさんかかわっていきたいと思いました。」「もっと地域のことを知りたいし、地域の行事に積極的に参加したい。」「地域の人は温かい、優しい、地域の伝統を大切にしている」という声が多く聞かれました。

課題としては、学校から多角的なニーズが求められ多くの方にサポーターとして活動いただくために、さらに地域とのネットワークを広め、深める必要があります。

5 キャリア教育「ようこそ先輩」～将来の自分と向き合う～（274 千円）

令和4年度の主な取組

能美市内3中学校では、将来の夢や目標を持ち、その実現に向かって努力を積み重ねる生徒の育成を目指して、1年生時に様々な職業に就かれている方々から仕事に関することやこれまでの体験談を聴き、広く職業について知り、社会に対する志を持つ学習に取り組んでいます。

そこで、令和3年度から多方面で活躍されている能美市出身の方の講演を通して、先輩の活躍に触れることで生徒が刺激を受け、働くことの意義や目標をもって努力することの大切さを知り、これから夢や目標をもって自分の進路を主体的に考える機会として、「ようこそ先輩」の講演会を開催しました。

対 象：市内中学校1年生 492名

日 時：令和4年11月29日（火）14：00～

場 所：根上総合文化会館 音楽ホール

講 師：リオデジャネイロオリンピック競泳800mフリーリレー銅メダリスト

ミズノ株式会社所属 小堀 勇氣 氏（辰口中学校出身）

演 題：「水泳を通じて学んだこと」

評価

夢や目標を達成するためには、ALA（当たり前レベルをあげる）やMKE（迷わず、苦しい道を選ぶ）が大切で、夢への道のりは選択の連続であることを話されました。自身が苦しい時代を乗り越え、念願のオリンピックでメダルを獲得し、自分の選んだ選択が最後の最後に自分に勇気をくれたという経験も聞くことができました。

生徒にとってこれからの進路を考えるときの指標となったとともに、能美市出身でオリンピックという夢の舞台で、世界的に活躍された先輩がいることを誇りに思える貴重な機会となりました。

*生徒の感想

※小堀さんのお話を聞いて、どんなに苦しいことや大変なことがあっても、そんなときこそ前を向いて進んでいけたらいいなと思いました。そのために「(A) あたり前の (L) レベルを (A) あげる、(M) 迷ったら (K) 苦しい道を (E) 選ぶ」ということを意識していきたいです。これから部活で苦しいことや大変なこと、たくさんの試練が待っていると思います。そんな時は「もう無理かも」とか「やだ」というマイナスな思考をやめて「まだできる」「やりたい」というプラスでとらえ、あきらめずに前向きに選んでいこうと思いました。

※小堀さんのお話は、水泳のことだけでなく、どれにもつながるお話で、すごく聞いてよかったなと思いました。私が一番心に残ったことはALAとMKEです。ALAで当たり前レベルを上げるで、今私が思っているレベルをもっとあげて勉強や部活をがんばりたいし、「迷わず苦しい道を選ぶ」で私はよく面倒くさかったり、いやだったりすると逃げてし

もうから、その時は面倒くさいと思っても、そのことをしっかりとしたいと思いました。
小堀さんのお話は自分の生活面や将来につながるお話で、すごくよい経験ができたなと思います。

4 教育環境の整備充実

令和4年度の主な取組

能美市教育大綱では、学校施設の充実について、学校長寿命化計画に基づき、大規模改修や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ることとしています。

学校施設の安全性と機能向上を目指し、老朽化に対応した改修工事、施設整備に必要な実施設計等を実施しました。

- ◇浜小学校施設整備事業 14,138千円
(トイレ改修, 給水設備改修等)
- ◇福岡小学校施設整備事業 4,277千円
(グラウンド防球ネット設置, 古紙用物置改修等)
- ◇寺井小学校施設整備事業 7,935千円
(電気設備改修, 給食配膳室空調設置等)
- ◇湯野小学校施設整備事業 2,660千円
(空調設備改修工事実施設計業務, 消防用設備不良箇所改修等)
- ◇栗生小学校施設整備事業 4,238千円
(遊具設置, 駐車場フェンス設置等)
- ◇辰口中央小学校施設整備事業 15,661千円
(遊具設置, 高学年プール用ろ過機ろ過材入替業務等)
- ◇宮竹小学校施設整備事業 594千円
(農舎屋根改修等)
- ◇和気小学校施設整備事業 22,795千円
(駐車場整備, グラウンド防球ネット設置等)
- ◇根上中学校施設整備事業 5,998千円
(非常階段等改修, 図書室カーテン取替等)
- ◇寺井中学校施設整備事業 16,766千円
(給食配膳室空調設置, 駐輪場等改修等)
- ◇辰口中学校施設整備事業 16,806千円
(バックネット等改修, 吸収式冷温水発生機修繕等)
- ◇新給食センター整備運営事業 89,814千円
(用地購入, 用地造成等)

評価

市内の学校施設は昭和40年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため、建築から50年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。

令和4年度は小中学校の改修工事のほか、自校式給食の給食室の機能を集約した新給食センター整備運営事業に本格着手しました。

施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

令和4年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（321 千円）

- ・ 各種会議
 - ✧ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ✧ 夏休み期間中、九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつりのパトロールを中止しました
- ・ あいさつ
 - ✧ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
376作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（7名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（241 千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
 - ✧ 毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ✧ 8月31日(水)～9月6日(火)を強化週間として平日5日間に開催（延べ約1,600人が街頭に立つ）
 - ✧ あいさつデー啓発ポスターは寺井中学校、中田光音さんの作品を採用

評価

毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小中学生の規範意識を高めています。15日以外にも自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。

例年、能美市のお祭り（九谷茶碗まつり、根上り七夕まつり、辰口まつり）と子どもたちの夏休み期間中にパトロールを実施しています。時間帯の変更や人数の見直しを検討しつつ、今後もパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。

更なる子どもの健全育成のため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながらいきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。

施策3 生涯学習の推進

1 生涯学習活動

令和4年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2023 (482 千円)

日 時 令和5年2月12日 (日)

会 場 根上総合文化会館，根上学習センター，寺井地区公民館，能美ふるさとミュージアム，辰口福祉会館

趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには，市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し，実践していくことが重要です。本会は，市民がお互いに話し合い，体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

参加者数

No.		内 容	人数
1	分科会	カラーリングを体験しよう	30
2	分科会	更年期障害を知ろう	26
3	体験講座	驚き！楽しい！こんな楽器	40
4	分科会	ふるさとをもっと知ろう	54
5	体験講座	笑いヨガ	15
6	分科会	賢く貯金しよう	8
7	分科会	3.11 東日本大震災富岡町に学ぶ	17
8	体験講座	日本文化を体験しよう	53
9	分科会	博物館ってどんなところ？	17
10	分科会	SDGs ってなんだろう？	16
11	分科会	三木清「人生論ノート」	12
		合 計	288

評価

まなびフェスタ 2023

市民の学びの場や各種地域活動への参画，地域の方々との交流を促進する機会のある場となっていくことを期待します。

2 公民館活動の推進

令和4年度の主な取組

◇成人式(1,619 千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 令和5年1月8日(日)

会場 根上総合文化会館

時間 10時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	80 人	98 人	81.6%
	女	68 人	83 人	81.9%
寺井	男	112 人	147 人	76.1%
	女	68 人	87 人	78.1%
辰口	男	81 人	98 人	82.6%
	女	54 人	73 人	73.9%
計	男	273 人	343 人	79.5%
	女	190 人	243 人	78.1%

◇総合文化祭

〈展示部門〉(150 千円)

日程 文化協会：令和4年10月28日(金)～10月30日(日)

一般展示：令和4年11月4日(金)～11月6日(日)

会場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター

一般展示：根上総合文化会館

内容 展示を2週に分けて実施しています。1週目は生け花，川柳などの市文化協会の作品。2週目は地区公民館，コミュニティーセンター，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(209 千円)

○ジュニア文化発表会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

○文化協会合同公演

日程 令和4年10月30日(日)

会場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

○市民文化・芸能大会

日程 令和4年11月5日(土)

会場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活動しているサークル・団体がこの日のために練習してきた演目を披露しました。

◇地区公民館・自治公民館協議会の活動 (7,776 千円)

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
5 月 15 日	第 18 回スポーツフェスティバル in ねあがり (中止)	浜小学校グラウンド
5 月 7 日～	パソコン入門講座 (5 回)	寺井地区公民館
5 月 23 日～	役に立つ楽しいペン習字 (10 回)	根上学習センター
6 月 18 日～	ワード基礎講座 (5 回)	寺井地区公民館
6 月 18 日～	エクセル基礎講座 (5 回)	寺井地区公民館

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
5 月 31 日～	各種教養講座・趣味の教室 (8 講座を開講)	寺井地区公民館
6 月 19 日	さわやかグラウンドゴルフ大会 (参加 23 チーム)	寺井グラウンドゴルフ場
7 月 10 日	寺井地区クリーンデー (14 町会で回収)	寺井地区一円
10 月 2 日	スポーツフェスティバル in てらい (参加 14 町会)	寺井小学校グラウンド
10 月 16 日	寺井地区一周駅伝競走大会 (参加 11 チーム) 寺井地区ソフトバレーボール大会 (参加 15 チーム)	寺井地区一円 寺井体育館
12 月 2～4 日	歳末助け合い入札展 (第 59 回)	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
6 月 18 日	のみふる ほたるまつり (ホテルの観察会)	能美ふるさとミュージアム
8 月 3 日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」 (中止)	能美ふるさとミュージアム
10 月 2 日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場 物見山総合体育館
3 月 12 日	しいたけの植菌体験 (中止)	寺井地区公民館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
6 月 15 日	市協議会役員会	寺井地区公民館
7 月	春季視察研修会（中止）	
11 月 12 日	秋季研修会：飛騨高山（参加 16 名）	岐阜方面
2 月 16 日	市協議会役員会，監査会	寺井地区公民館
2 月 25 日	市協議会総会（書面表決）	寺井地区公民館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
4 月 7 日	根上地区役員会	根上総合文化会館
5 月 15 日	第 18 回スポーツフェスティバル in ねあがり（中止）	浜小学校グラウンド
6 月上旬	花いっぱい運動	根上地区各町会
7 月 23 日	根上り七夕まつり 踊りの夕べ	根上総合文化会館
11 月 12 日	秋季研修会：飛騨高山（参加 7 名）	岐阜方面
1 月 26 日	根上地区役員会	根上総合文化会館
2 月 10 日	根上地区総会（書面表決）	根上総合文化会館
3 月 23 日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
6 月 19 日	さわやかグラウンドゴルフ大会（協会と共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7 月 10 日	寺井地区クリーンデー（14 町会で回収）	寺井地区一円
7 月 13 日	自治公民館協議会役員会	寺井地区公民館
7 月 20 日	自治公民館協議会 第 1 回館長会	寺井地区公民館
7 月 27 日	スポーツフェスティバル 第 1 回実行委員会	寺井地区公民館
8 月 9 日	スポーツフェスティバル 第 2 回実行委員会	寺井地区公民館
8 月 25 日	自治公民館協議会 第 2 回館長会	寺井地区公民館
9 月 22 日	秋の体育行事打合せ	寺井地区公民館
10 月 2 日	スポーツフェスティバル in てらい ※「自由参加」開催で 14 町会が参加	寺井小学校グラウンド
10 月 16 日	寺井地区一周駅伝大会（参加 11 チーム） 寺井地区ソフトバレーボール大会（参加 15 チーム）	寺井地区一円 寺井体育館
11 月 12 日	秋季研修会：飛騨高山（参加 6 名）	岐阜方面
1 月 25 日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2 月 4 日	寺井地区総会（書面表決）	寺井地区公民館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
7月8日	辰口地区自治公民館協議会 役員会	辰口福祉会館
11月12日	秋季研修会：飛騨高山（参加3名）	岐阜方面
12月18日	辰口地区自治公民館協議会 監査会	寺井地区公民館
1月12日	辰口地区自治公民館協議会 総会（書面表決）	辰口福祉会館
1月21日	辰口地区役員会	辰口福祉会館

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がれたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位に設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいますが、色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に隔たりが見られるのも事実です。

今後の課題として、地区の地域性があることも事実ですが、3地区の一体化も十分精査し検討していく必要があるかと思われます。

○自治公民館

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられています。3地区とも地区を構成する町会（根上地区19、寺井地区18、辰口地区37）の規模に大きな開きがあります。特に辰口地区では世帯数が20に満たない町会から1,000を超す町会があります。

令和4年度、自治公民館協議会としての活動は上半期、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止の状況が続きましたが、下半期は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、内容を検討した上での開催が多く見受けられました。

引き続き、新型コロナウイルス等の感染症の状況を見極めた上で、できる限り地域住民の交流を図れる事業内容に考えていく必要があるかと思われます。地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流の場を持ちながら、グループ単位や地区単位、或いは市内一丸となつて、時代の変化を捉えた事業を行い、地域を活性化することが重要だと思います。

また、各地区では、年々自治公民館協議会の役員選出が難しくなっています。地区公民館として、市・地区の協議会事業がより有益で効果的なものとなるよう協議・調整を進めると共に、協議会役員への負担軽減を図っていく必要があるかと思われます。

3 社会教育施設の運営

◇市立図書館（142,811 千円）

図書館の運営方針に基づき、3 館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

令和 4 年度の主な取組

○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と 3 館の持ち味を生かした資料収集を行いました。
（根上図書館：ビジネス書，寺井図書館：美術資料，辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように，利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（令和 5 年 3 月末統計）

- | | | | |
|-------|-------------|------------------|-------------------------------|
| ・蔵書数 | ： 433,508 冊 | ・人 口 | ： 49,576 人（令和 5 年 3 月 31 日現在） |
| ・登録者数 | ： 34,661 人 | ・登録率（市民） | ： 48% |
| ・貸出者数 | ： 99,802 人 | ・市民一人当たりの貸出冊数 | ： 6.1 冊 |
| ・貸出冊数 | ： 410,615 冊 | ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数） | ： 0.95 回 |

○「のみ電子図書館」事業

- ・10 月 27 日より運用開始しました。「子育て世代」に重点を置き，いつでもどこにいても 24 時間 365 日インターネットを通じて，電子書籍の検索・貸出・返却・閲覧が可能なサービスを提供できるようにしました。
- ・充実した児童書を積極的に学校で活用してもらい，児童生徒への読書の興味・学習意欲・学習支援に繋がる取り組みとして，市内全児童生徒に学校用 ID を配布しました。

◎利用状況（令和 5 年 3 月末統計）

- | | | | | | |
|------|-----------|-------|-----------|-------|------------|
| ・蔵書数 | ： 2,074 冊 | ・貸出者数 | ： 7,662 人 | ・貸出冊数 | ： 13,955 冊 |
|------|-----------|-------|-----------|-------|------------|

○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり，より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画，運営を行いました。

◎講座・講演

- ・短歌講座
- ・まちづくり出前講座

◎年代に応じた児童サービス

- ・ブックスタート
- ・保育園や児童館などへの出前おはなし会

- ・乳幼児向けのおはなし会
- ・えいごであそぼう（幼児向け）
- ・読書スタンプラリー

◎年齢別図書リストを作成

- ・0歳から3歳児向け「えほんのじかんだよ」
- ・小学生向け「にじいろぼっけ」

◎保育園・小中学校との連携事業

- ・小中学校へのブックトーク
- ・保育園や小中学校への移動文庫
- ・小学一年生の図書館招待

◎第3次能美市子ども読書活動推進計画（令和2年度～令和6年度）の具現化

○ 関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアとの連携

◎関係機関と連携した展示の実施

健康推進課「子どもの健康」「自殺防止」・地域振興課「男女共同参画」
のみ商業共同組合「のみまちゼミ講座」・いきいき共生課「認知症予防」

○ 啓発・広報事業

- ・能美市広報誌の図書館コーナー（月1回）・図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、SNSを活用した情報発信を実施しました。

○ 職員研修

- ・令和4年10月14日（金）「のみ電子図書館」運用開始に向け利用研修
- ・令和5年2月22日（水）読書バリアフリー体制強化研修

○ 安心・安全な図書館利用への対応

- ・6月よりおはなし会やAVブースの使用を再開
- ・閲覧席も段階を踏んで元に戻した

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

館内の換気，サーモカメラ・除菌液の設置，館内除菌清掃，図書の消毒，カウンターにアクリル板の設置

評価

図書館運営方針に基づき，3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を計画しました。中止していた事業は，新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をして実施し，図書館利用状況は新型コロナウイルス感染症拡大以前に戻りつつあります。

コロナ禍の中で，多様な市民の読書要求に応え読書環境を整えるため，資料提供事業に

重点を置き，来館しなくても利用可能な「のみ電子図書館」の運用も開始しました。「のみ電子図書館」は令和4年10月27日に学習センターでオープニングセレモニーを開催し，児童生徒の読書環境を整え，学びを支援すること，さらに子育て支援にも活用するほか，身体的に来館や読書が困難である方へのサービス拡大に繋がることを目的としました。

また，県内外図書館との相互利用を活用し，利用者が求める資料提供に努めました。

◇根上学習センター（69,935 千円）

根上学習センターは、図書館を併設した展示・発表会、研修会、サークル活動及び宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」など、多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者まで幅広く利用されています。

令和4年度の主な取組

宇宙や科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業の計画を立てて準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催事業の規模を縮小しました。

- 1 保育園園児を対象にした根上図書館との共催による「プラっとおはなし。」、一般市民を対象にした能美星の会会員が講師となるプラネタリウムを活用した星空教室、望遠鏡を使った星空観察会、プラネタリウムの定時投影は規模を縮小しました。また、天文情報をお知らせするチラシを作成し、館内に設置しました。
- 2 小学生対象のおもしろ科学工作教室、ガリレオクラブ、JAXAの協力によるコズミックカレッジ等の教室、宇宙や科学をより身近に体験する機会としての「サイエンスフェスタ'22」は、身の周りの不思議に気づき・発見し・探究する場として計画しました。今年度は募集人数を減らして実施しました。
- 3 パネルなどを展示し広く宇宙や科学に興味・関心を持っていただくための企画展は、開催日を限定して実施しました。
- 4 研修室や学習室は、各室の定員を減らし、利用者の手指の消毒・検温、利用後の清掃・消毒等の措置をとって各種団体の利用を進めてきました。

評価

施設の研修室や学習室は、市民の交流の場や生涯学習の場として各種団体等に日常的に使用されており、今後も能美市の生涯学習施設として活用されるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、施設の運営・管理及び各事業の実施に努めていきます。

事業内容については、子どもたちの科学や宇宙への興味・関心を高められるように内容を工夫していきます。さらに、指導者の確保による内容の充実に努め、能美市における科学教育の推進に繋げることで、移住、定住の促進につながる魅力ある能美市づくりに貢献していきます。

◇根上総合文化会館（82,241 千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市や市教育委員会の主催事業をはじめ、さまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（令和 4 年度）

年間利用件数	2,112 件（令和 3 年度	1,715 件）
年間利用者数	70,361 人（令和 3 年度	39,209 人）

評価

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、講座を開催する際にご利用いただいています。さらに、能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催事業・他団体の利用の一部が中止や延期となりました。「能美市アットホームタウンフェスティバル」は、能美市ファミリーコンサートのための開催となりました。

また、根上総合文化会館も開館して 28 年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫を行っています。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

令和4年度の主な取組

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助・継続事業・82,176千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の保存整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の発掘調査、保存整備工事実施設計、保存整備工事を行いました。また、令和4年8月4日に発生した大雨により、和田山古墳群が分布する丘陵の一部が崩落したことから災害復旧工事を行いました。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（単独・継続事業・18,481千円）

能美古墳群の環境整備として、能美古墳群全体の除草や寺井山古墳群、末寺山古墳群、和田山古墳群の低木剪定を行い、景観、環境の向上に努めました。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・3,139千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財（考古資料）西山古墳群出土品の保存処理などを行いました。

◇文化財保存修理事業（単独・継続事業・8,792千円）

市内の指定文化財を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、市指定文化財の史跡山上組十村屋敷跡、天然記念物高座のアベマキ群の説明板修繕を行いました。また、8月4日に発生した大雨により、七ツ滝、来丸物見山古墳群の一部が毀損したことから災害復旧工事を行いました。

評価

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助）

西山古墳群の保存整備工事に着手し、公開活用に向けて事業を進捗させることができました。また、発掘調査及び整備工事実施設計を行ったことで、今後の保存整備工事に向けた準備を進めることができました。さらに、令和4年8月4日に発生した大雨により、和田山古墳群の一部に毀損が生じましたが、迅速で適切な災害復旧の対応をとることができました。

今後は、西山古墳群の実施設計と発掘調査を進めていくとともに、保存整備工事を着実に進めていく必要があります。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（単独）

能美古墳群の法面除草や低木剪定を行ったことで、史跡公園の来園者がより快適かつ便利に古墳見学ができるようになりました。

今後は、統一的な案内板や説明板、案内ルートなどを設置し、イベントなども企画することで、一体的な史跡としての更なる活用を図っていく必要があります。

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業

出土品の保存処理を行うことで、より適切な保存処置が図られるようになり、学術的にも新たな知見を得ることができました。

今後の課題としては、その成果をどのように市民へ伝えていくか、能美ふるさとミュージアムでの展示や成果報告書などの公開方法を検討していく必要があります。

◇文化財保存修理事業

市指定文化財の説明板を修繕したことで、来園者の利便性が向上し、快適に散策ができるようになりました。また、令和4年8月4日に発生した大雨により、七ツ滝、来丸物見山古墳群の一部が毀損しましたが、迅速で適切な災害復旧の対応をとることができました。

今後は、他の指定文化財の案内板設置や説明板の更新を行い、さらなる活用を図っていく必要があります。

2 博物館の活動

◇教育・普及活動・賑わい創出事業（5,631 千円）

展示

展示名	期日	概要
桜の生け花展	4月2日（土）～ 4月7日（木）	街路樹の桜の支障木などを生け花にして体験棟で展示
のみふるミニ展示「完全再現！古墳時代の甲冑」	4月29日（金）～ 5月8日（日）	令和3年度に制作した和田山5号墳の再現甲冑をミュージアムギャラリーにて公開
能美市写真協会 写真展	5月18日（水）～ 5月28日（土）	能美市写真協会の会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
辰口絵画クラブ展「辰口の風」	5月31日（火）～ 6月12日（日）	辰口絵画クラブの会員の作品をミュージアムギャラリーにて展示
夏季企画展「能美の昔のごはん～太郎くんの自由研究～」	7月24日（日）～ 9月25日（日）	ミュージアムギャラリーにて旧石器時代から現代までの能美の食文化を、再現品や写真、イラスト等で紹介
東京 2020 大会 表彰台レガシープロジェクト	8月10日（水）～ 8月31日（水）	東京 2020 五輪で使用された表彰台を体験棟で展示
特別展「完全再現！古墳時代の甲冑&古墳まつり 10 年の歩み」	10月15日（土）～ 12月25日（日）	特別展示室にて令和3年度に制作した再現甲冑の展示や古墳まつり 10 年の歩みを写真で紹介
学芸員コレクション展「古墳グッズの世界」	10月8日（土）～ 1月29日（日）	学芸員が収集した全国の古墳グッズをミュージアムギャラリーにて一堂に展示
館蔵品展「能美の風景画～暮らしと民話の情景～」	1月14日（土）～ 5月7日（日）	博物館のこれまでの刊行物と、刊行の際に寄贈された能美の生活や懐かしい風景が描かれた原画を特別展示室にて展示
石川県自然解説員研究会写真展 第 18 回「石川の自然」	2月7日（火）～ 2月12日（日）	石川県自然解説員研究会会員の自然写真をミュージアムギャラリーにて展示
ミニ企画展「ひなまつりに飾られたもの」	2月23日（木）～ 4月2日（日）	昭和のひな飾りや金花糖の木型を展示

イベントなど

講座・イベント名	期日	概要
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	4月～2月 土曜日 計9回開催	講師：高 剋滄・高 文子（日本野鳥の会石川県支部 幹事） 合計 134 名参加
のみふる賑わいイベント「のみふる桜まつり」	4月2日（土）	くずし字しおりをつくろう！・顔出しパネルで PR！加賀立国 1200 年・目指せ 1200 コメント！能美のいいとこ！こんなとこ！
のみふる賑わいイベント「のみふるこどもまつり」	5月5日（木）	昔遊びに挑戦！コマ回し大会！・のみふるラリー・顔出しパネルで PR！加賀立国 1200 年・目指せ 1200 コメント！能美のいいとこ！こんなとこ！
七夕飾り体験（体験棟）	6月18日（土）～ 7月10日（日）	体験棟に大きな笹飾りを設置。来館者に短冊に願いを書いてもらった
のみふる賑わいイベント「のみふるほたるまつり」	6月18日（土）	光るプラバンづくり・顔出しパネルで PR！加賀立国 1200 年・目指せ 1200 コメント！能美のいいとこ！こんなとこ！・本のリサイクル市・ホテル観察会
夏季企画展関連イベント「古代の食器を作ってみよう！」	7月30日（土）	古代に食器として使われた須恵器を親子で制作した
防災フェスタ共催イベント	9月25日（日）	火起こし体験・昭和 9 年紙芝居読み聞かせ・目指せ 1200 コメント！能美のいいとこ！こんなとこ！
開館 2 周年記念「のみふる古墳まつり」	10月15日（土）・ 16日（日）	いしかわ百万石文化祭 2023 プレイメントとして、古墳スイーツフェアや石川県警察音楽隊のコンサート、古墳儀礼の再現など様々な催しを行った
のみふる賑わいイベント「のみふるクリスマス」	12月11日（日）	クリスマスツリー展示・オーナメントづくり・カレンダーづくり・年賀フォトスポット

団体見学の受け入れ

市内小学校	・・・	24校	児童	1,115名
市内中学校	・・・	2校	生徒	337名
市内保育園	・・・	20園	園児	616名
市外小学校	・・・	9校	児童	446名
市外中学校	・・・	2校	生徒	73名
市外高等学校	・・・	2校	生徒	101名
市外大学	・・・	6校	児童	74名
その他教育団体	・・・	2団体		30名

出前講座

11月23日（水）能美市ってこんなところ（歴史，自然）（喫茶いずみ ジオウォーキングの会）

11月30日（水）能美市ってこんなところ（歴史，自然）（能美市老人クラブ連合会寺井支部）

のみふる友の会

総会…令和4年4月12～22日（書面総会）

会報…『のみふる便り』を2回発行

研修会…春季 6月2日「根上の文化財めぐり」

講師：職員 瀧上 秀明

夏季 7月28日・31日「のみふるテーマ展示室見学」

講師：学芸員 横幕 史織・知田 真衣子

秋季 9月30日 「寺井の文化財めぐり」

講師：職員 瀧上 秀明

県内施設見学 11月2日 国立工芸館・県立歴史博物館など

古文書解説教室 12月1日・8日・15日

講師：学芸員 鎌田 康平

冬季 3月16日「辰口の文化財めぐり」

講師：職員 瀧上 秀明

ボランティア活動…蟹淵卵塊調査 5月～7月 5回実施

◇調査・収集・記録事業（297千円）

○生物生息調査

- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議など（6月～9月）
- ・蟹淵水質モニタリング調査など（4月～令和5年3月）

評価

令和4年度は、夏季企画展、特別展、館蔵品展を開催し、積極的に能美市の自然、歴史、民俗の魅力発信に努めました。夏季企画展では、「能美の昔のごはん～太郎くんの自由研究～」と題して、旧石器時代から昭和に至る能美市の食文化の変遷を紹介しました。夏休みの子ども向け展示として解説にはイラストを多用してわかりやすく工夫するとともに、昭和の居間の再現や、関連イベントとして古代の食器作り体験を行うなど、多くの見学者から好評を得ました。

また、能美ふるさとミュージアムをより多くの方々に知ってもらい、来館するきっかけ作りとするため、「能美ふるさとミュージアム賑わいイベント」と題して、さまざまな内容のイベントを開催しました。季節や行事ごとに定期的に開催することでリピーターの獲得に繋げるとともに、開館記念日に開催した「のみふる古墳まつり」では、古墳スイーツフェアや石川県警察音楽隊のコンサート、古墳儀礼の再現などさまざまな催しを行い、これまで博物館に興味のなかった層にも多く来館していただきました。

小中学校、保育園の団体見学利用も多くあり、それぞれの学年、学びの目的に応じた案内を行いました。特に、小学校6年生は歴史学習、3年生は暮らしの移り変わりの学習で、市内ほぼ全ての小学校の利用がありました。いずれも豊富な実物資料を見ながらの学習が好評で、市外からの利用もありました。

能美ふるさとミュージアム友の会も会員数は増加傾向にあり、研修会やボランティア活動を通じて博物館への愛着を深めています。今年度は、市内の文化財めぐりを企画し、根上・寺井・辰口に残された貴重な歴史や自然について学びました。

市内の自然環境は、8月4日の大雨により各地で被害がもたらされました。特に蟹淵に至る林道が通行不可となり、今後の調査や保全活動への影響が懸念されます。

今年度も多くのイベントの開催や、学校からの団体見学等により、さまざまな世代の方々にご来館いただきました。今後も、現在の取り組みを維持しつつ、展示やイベントの内容をさらに磨き上げ、より多くの皆様に愛される博物館となるよう工夫してまいります。

3 文化振興

令和4年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4,700 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り，連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 36 協会。

◇民俗芸能保存伝承（367 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより，後継者の養成，地域社会の活性化，世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 14 団体。

評価

文化連盟・協会への補助を行うことで，経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や発表会などで市民の文化意識の向上を促進しており，令和4年度は能美市文化協会合同公演がコロナ禍を経て3年ぶりに開催されました。

市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など，連盟・協会員以外の方が参加できる機会を設けることにより，市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第18号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行い，練習会やイベントで披露することで，伝統文化を守り伝えています。

施策5 スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ、市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で、スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

令和4年度の主な取組

◇県民スポーツ大会への選手派遣（1,080千円）

加賀市を主会場に3年ぶりの開催を予定していた「石川県民スポーツ大会夏季大会」は、早期開催の一部競技を除き、8月4日の大雨による災害のため中止となりました。冬季大会は男子総合10位、女子総合7位でした。

◇能美市民体育大会（780千円）

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘、育成強化を図ることを目的に、6月を中心に市内各施設（一部除く）で23競技が開催され、その運営補助を行いました。

◇第65回全国銃剣道能美大会（360千円）

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。代替えとして「奉納銃剣道」を開催し、陸上自衛隊金沢駐屯地第14普通科連隊による演武と紅白試合を行いました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

期 日 令和4年6月11日（日）

場 所 能美市寺井体育館

◇第47回全日本競歩能美大会（10,127千円）

本大会は「アジア陸上競技選手権大会20km」を兼ねるとともに「第17回日本学生20km競歩選手権大会」を併催し、また、ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都）、ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会、杭州2022アジア競技大会、バンコク2023アジア陸上競技選手権大会の日本代表選手選考競技会にも位置付けられました。10部門計292名のエントリーのもとレースが行われました。

アジア各国から30名、欧州からは14名のオープン参加があり、国際色豊かな大会となりました。また、2年ぶりに中学生の部も開催され、地元・辰口中学校の選手が優勝しました。

大会前日には競歩大会開催への機運を高めるプレイベントとして、競歩に関連するスポーツ講演会や、ウォーキングイベントを関係団体と連携し、開催しました。

期 日 令和 5 年 3 月 19 日（日）

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営 20 k m コース（往復 1.0 k m）

評価

県民スポーツ大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金として交付しているものであります。県民スポーツ大会は、夏季大会は大雨の影響から中止となりましたが、冬季大会は男子総合 10 位・女子総合 7 位と健闘しました。引き続き、成績の向上を目指し取り組んで参ります。

全国銃剣道大会についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりましたが、代替えとして演武や紅白試合を行う奉納銃剣道を実施することができました。

全日本競歩能美大会については、アジア陸上競技選手権大会・中学生の部を開催し、4 年ぶりに全部門で開催することができました。また、前日にプレイベントを実施することで、競歩大会への関心を高めることが出来ました。

引き続き、全国銃剣道能美大会及び全日本競歩能美大会で観客の更なる増加を目指した取組みを実施し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

2 生涯スポーツの普及・振興

令和4年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,000千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び競技人口の拡大を図るため、市内42クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携や交流、親睦を図るため、毎年様々な行事を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、結団式等上半期の事業は中止、スポーツ交流大会等下半期の事業は感染症拡大に配慮しながらの開催となりました。

◇高齢者健康クラブ活動（827千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内3クラブ83名の高齢者が3会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成研修会等に参加する等、3クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇能美市スポーツ推進委員会（1,307千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度からは活動を自粛していましたが、今年度から徐々に活動を再開し、カラーリングやスライディングペタンクといったニュースポーツの普及を重点に置きながら取り組みました。

評価

ジュニアスポーツクラブ活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動の制限や結団式の中止などを決定し、子どもたちの健康面を考慮した運営を行いました。今年度は残念ながら上半期の事業を実施することができませんでしたが、下半期の事業を実施することができ、スポーツを通じて子どもたちの交流の機会を作ることができました。今後も役員と協力し、より多くの事業を実施できるように取り組んでいきます。

高齢者健康クラブについては、会員同士の交流の機会となるよう、講師指導のもと、体操やダンスを行っています。今年度は市内3クラブとの交歓大会を実施したほか3年ぶりに県の交歓大会等に参加し、県内のクラブとも親睦を深めました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会については、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子どもから高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続け

ていく中で、出務していただいている委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

3 スポーツ施設の整備充実

令和4年度の主な取組

◇根上勤労者体育センター空調設備整備工事

- ・空調設備設置 N=25台
- ・エアー搬送ファン N=20台
- ・LED 照明設置 N=28台
- ・空調設備等設置に伴う工事 N=一式

◇泉台スポーツセンター屋根・外壁等改修工事

- ・屋根改修 A=1,430 m²
- ・外壁改修 A=1,196 m²

◇物見山野球場夜間照明施設改修工事

- ・夜間照明施設改修 N=3 基

◇上記工事を含め26件の工事、10件の業務委託（実施設計・監理）、8件の備品購入を実施

◎スポーツ施設整備費総額 299,422 千円

評価

施設整備にあたっては、既存施設の活用を柱とし、ニーズの高い競技施設の計画的な整備、安全・安心・気軽に利用できるよう充実を図っています。

泉台スポーツセンターは建設当初から大きな改修は行われてこなかったため、30年近く経過し損傷が目立ってきた屋根、外壁等について改修工事を行いました。

指定避難所となる施設の災害時の避難場所や熱中症の予防など利用者の保護のため、一昨年の物見山総合体育館の改修工事、昨年の寺井体育館の改修工事に続き、根上勤労者体育センターを終え、各地区体育館の冷暖房設備の設置が完了しました。

物見山野球場の夜間照明施設については、古くなった水銀灯6基をLED照明に取替えるもので、今年度は3基分をLED照明に取替え、来年度に残りの3基分を取り替える予定です。

今回の改修施設を含めた市内体育施設は建設後20～40年以上経過した施設であり、経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し、スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで、施設の延命化を図ります。また、施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し、幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツの参加促進、普及・育成につなげていきたいと思います。

教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1 教育委員会会議

12 回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 21 件 }

令和 4 年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
令和 4 年第 4 回 (R4. 4. 20)	議案第 8 号 能美市教育委員会教育長職務代理の指名について 議案第 9 号 能美市学校運営協議会委員の選任について 議案第 10 号 能美市コミュニティ・スクール推進協議会委員及び 能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任 について 報告事項 ・石川県市町教育委員会連合会定期総会について ・能美市小中学校 管理職・主任等一覧 ・能美市立小中学校 学年別人数・学級数 ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（3 月状況） ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（3 月状況） ・いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 in 能美について ・物見山陸上競技場リニューアルセレモニーについて
令和 4 年第 5 回 (R4. 5. 26)	議案第 11 号 令和 3 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要 求について 議案第 12 号 令和 4 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要 求について（6 月補正） 議案第 13 号 能美市新学校給食センター整備事業者選考委員会設 置要綱の制定について 報告事項 ・新学校給食センター建設予定地及び進捗について ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（4 月状況） ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（4 月状況） ・第 18 回能美市民体育大会の開催について ・全国大会出場報告

令和 4 年第 6 回 (R4. 6. 27)	報告事項 ・ 姉妹校交流について ・ GIGA スクール構想推進に向けての能美市授業づくり計画について ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（5 月状況） ・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（5 月状況） ・ 電子図書館について ・ ウォークアドバイザー養成講習会の開催について ・ 第 74 回石川県民スポーツ大会夏季大会の開催について
令和 4 年第 7 回 (R4. 7. 26)	議案第 14 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する規則について 議案第 15 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 報告事項 ・ 令和 4 年度石川県市町教育委員会セミナーについて ・ 全国大会出場者報告について ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（6 月状況） ・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（6 月状況） ・ 第 41 回加賀地区中学生意見発表大会(兼 少年の主張石川加賀地区大会)について ・ ふれあいあいさつデー強化週間について ・ 全国大会出場者報告について
令和 4 年第 8 回 (R4. 8. 22)	議案第 16 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 17 号 令和 4 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について 報告事項 ・ 長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7 月状況） ・ 能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（7 月状況） ・ 「第 16 回能美市ファミリーコンサート」について ・ 全国大会出場者報告について ・ ツエーゲン金沢「ホームタウンサンクスデー」について ・ 「オクトーバー・ランアンドウォーク 2022」について
令和 4 年第 9 回 (R4. 9. 26)	議案第 18 号 能美市体育施設管理運営規則の一部改正について 報告事項 ・ 第 2 回教育委員代表者会について

	・石川県市町教育委員会連合会研究大会について ・全国大会出場者報告について ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（8月状況） ・令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について ・能美市立小中学校修学旅行・運動会の対応について ・能美ふるさとミュージアム開館2周年記念イベント「のみふる古墳まつり」について ・全国大会出場者報告について
令和4年第10回 (R4. 11. 2)	報告事項 ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（9月状況） ・第18回能美市総合文化祭について ・有森裕子さん「ランニング教室」について
令和3年第11回 (R4. 11. 28)	議案第19号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第20号 令和4年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について（12月補正） 議案第21号 能美市和気あいあいの里キャンプ場管理運営規則の廃止について 議案第22号 能美市体育施設管理運営規則の一部改正について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（10月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（10月状況）
令和4年第12回 (R4. 12. 27)	議案第23号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（11月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（11月状況） ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について ・冬休みのパソコン端末（クロームブック）の持ち帰りについて ・令和4年度卒業式について ・令和5年成人式～二十歳のつどい～の開催について ・第47回全日本競歩能美大会の開催について

令和 5 年第 1 回 (R5. 1. 23)	議案第 1 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（12 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（12 月状況） ・歳末助け合い入札展実績報告 ・令和 5 年能美市成人式参加者数報告 ・まなびフェスタ 2023 について
令和 5 年第 2 回 (R5. 2. 27)	議案第 2 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議案第 3 号 令和 4 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定（新入学用品費入学前支給）について 議案第 4 号 令和 5 年度能美市一般会計の教育関係当初予算及び令和 4 年度補正予算の要求について 報告事項 ・令和 4 年度能美市教育委員会の点検及び評価報告書について ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（1 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（1 月状況） ・令和 4 年度卒業式について ・卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について ・まなびフェスタ 2023 参加者数報告 ・第 47 回全日本競歩能美大会プレイベント・本大会の開催について ・全国大会出場者報告について
令和 4 年第 3 回 (R5. 3. 20)	議案第 5 号 能美市立学校医の補充の選任について 報告事項 ・全国大会出場者報告について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況報告（2 月状況） ・令和 5 年度入学式について ・令和 4 年度能美市立小中学校 学校評価最終報告書について ・ふれあいあいさつデーについて ・根上翠ヶ丘運動公園の利活用に関するサウンディング型市場調査実施結果について

	・令和 5 年度能美市ジュニアスポーツクラブ及び能美市健康クラブの活動開始について
--	---

2 総合教育会議

年 月 日	議 題
R5. 2. 27	(1)地域運動部活動の推進について (2)GIGA スクールの進捗状況について

3 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
R4. 4. 16	ふれあいあいさつデー
R4. 4. 20	第4回市教育委員会会議
R4. 5. 10	石川縣市町教育委員会代表者会
R4. 5. 10	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
R4. 5. 16	ふれあいあいさつデー
R4. 5. 26	第5回市教育委員会会議
R4. 6. 1	和気小学校計画訪問
R4. 6. 7	宮竹小学校計画訪問
R4. 6. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 6. 21	栗生小学校計画訪問
R4. 6. 27	第6回市教育委員会会議
R4. 6. 28	浜小学校計画訪問
R4. 6. 29	辰口中央小学校計画訪問
R4. 7. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 7. 26	第7回市教育委員会会議
R4. 8. 2	石川縣市町教育委員会セミナー
R4. 8. 22	第8回市教育委員会会議
R4. 8. 31～	ふれあいあいさつデー強化週間
R4. 9. 9	寺井中学校計画訪問
R4. 9. 14	湯野小学校計画訪問
R4. 9. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 9. 16	寺井小学校計画訪問
R4. 9. 26	第9回市教育委員会会議
R4. 9. 29	福岡小学校計画訪問
R4. 9. 30	石川縣市町教育委員会代表者会
R4. 10. 17	ふれあいあいさつデー
R4. 10. 28	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（珠洲市）
R4. 11. 2	第10回市教育委員会会議
R4. 11. 3	能美市表彰式

R4. 11. 4	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会（小松市）
R4. 11. 6	寺井小学校計画訪問
R4. 11. 10	粟生小学校計画訪問
R4. 11. 13	福岡小学校計画訪問
R4. 11. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 11. 28	第 11 回市教育委員会会議
R4. 12. 15	ふれあいあいさつデー
R4. 12. 23	第 12 回市教育委員会会議
R5. 1. 16	ふれあいあいさつデー
R5. 1. 23	第 1 回市教育委員会会議
R5. 2. 15	ふれあいあいさつデー
R5. 2. 27	第 2 回市教育委員会会議
R5. 2. 27	第 1 回能美市総合教育会議
R5. 3. 15	ふれあいあいさつデー
R5. 3. 20	第 3 回市教育委員会会議

評 価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育大綱の基本理念である『地域に根ざし 豊かな未来を切り拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

能美市の報告書を拝見するようになって、今年で4年目になります。この書き出しは昨年度と数字だけを入れ替えたものです。令和6年の元旦の能登半島地震を受け、「日常」を取り戻すことの難しさと、それに向けて動き出す人の力を痛切に感じています。この報告書はその前の、コロナ禍が少しずつ明けて、「日常」を取り戻しつつあった年度の活動結果です。とはいえ、コロナウイルスだけでなく、インフルエンザ等の感染症拡大への心配もあり、防止措置を取りつつ、多くの事業に取り組みました。また、市民が学習し続けるための施設の整備を計画的に進めています。

令和4年度は令和3年度に比べてもICTの整備と活用が進んでいることがわかります。タブレット等をまずは触って慣れていこうとするところから、それらを使った効果を求める段階に進んだ学校教育はもちろんのこと、図書館では「のみ電子図書館」がスタートしています。時代の流れにあった、人々のニーズに応えたものと言えると思います。研修の機会についてもオンラインで開催されるものを活用することで広がっていているようです。特別支援教育など、個の特性に合わせた教育にも力が入れられるようになる中で、専門性の高い知識をより多くの先生方や支援者、地域の皆さんが習得する機会は人材育成にとって重要なことですので、今後とも大いに活用が期待されます。

その一方で、対面でのコミュニケーションを取ること、身体を動かすことも大切にされていると感じます。現代では、ともするとネット環境に依存して、対面でのやり取りを避ける傾向があります。それにはもちろん利便性があり、悪いことばかりではありません。また、人々の思いとは別にコロナ禍によって進んだとも言えます。しかし、多様な特性を持つ人々が協働している社会を保持し続けるためには、一人ひとりが良い距離感を保ったコミュニケーション力を持ち続けることも必要です。それは日々の何気ない積み重ねの上に自然と身につくようなものではないでしょうか。能美市では、学びを通して地域の人的ネットワークを構築する取り組みに熱心に取り組んでこられています。子どもたちだけではなく、大人たちを対象としたものがあり、また講座だけでなく、イベントなどがあります。それらは一朝一夕に成果が出るものではなく、さらなる取組を課題としても認識されていますが、そのような課題意識を持ち続けていかなければ、あっという間に脆弱なものとなっていく可能性があります。今後ともその課題意識を持ち続けられることを期待しています。

令和6年3月現在、能美市教育委員会事務局も、学校関係者、地域の社会教育に関わるみなさんも大変な努力をなさっているかと推察しています。これまで取り組まれてきた防災教育にも更に熱心に取り組む必要性が指摘されることと思います。その一方で、人々の生活を豊かにする学習への支援も、緩やかな人のつながりを形成、保持していることから、これまでのように大切にしていきたいと思います。公民館運営のあり方に関しては全

国の他地域と同様に検討すべき課題が多いようですが，令和４年度の事業報告では生涯にわたる人々の学習を様々な面から支援していることがわかります。令和６年度も地域のつながりを活かしながら，新たな人々のつながりを生み出す土壌は失われていないと感じました。